

間文化現象学研究センター・
第1回東アジア間文化現象学講演会

劉暢（上海・復旦大学哲学院）講演 「哲学の二つの根——メタ哲学的考察」

TWO ROOTS OF PHILOSOPHY: META-PHILOSOPHICAL CONSIDERATIONS

日時：2025年10月26日16時～18時

場所：立命館大学 衣笠キャンパス 啓明館302教室（対面開催）

+オンライン（以下のリンクよりZoomの事前登録をしてください）

<https://ritsumeit-ac-jp.zoom.us/meeting/register/VUKKIAhPR6mNtkm0n7lq5A>

本講演では、現象学（フッサール『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』）、
エナクティヴィズム、形而上学（新アリストテレス主義）のあいだの対話の試みを通
じて、哲学と科学の関係をめぐる議論が展開されます。

使用言語：英語・日本語・中国語（講演は英語でおこなわれます）

オーガナイザー：

廖欽彬（中山大学哲学学系）

亀井大輔（立命館大学文学部）

鈴木崇志（立命館大学文学部）

コメンテーター：

鈴木崇志

柳川耕平（立命館大学衣笠総合研究機構）



講演者プロフィール：

劉暢（復旦大学哲学院）

ドイツ・フライブルク大学哲学博士。研究領域は、ドイツ語圏の現象学（フッサール、ハイデガー、インガルデン）、形而上学（新アリストテレス主義）、心の哲学、認知科学など。博士論文は「Das Hyletische in unterschiedlichen Formen der Auffassung: Der phänomenale Charakter bei E. Husserl（統握力の諸形式におけるヒュレー的なもの——フッサールにおける現象的性格）」（2020年）。